

東証スタンダード市場・福証
証券コード：6998

決算補足説明資料

2025年3月期（2024年度） 第3四半期決算概要

2025年2月6日



はじめに

当社商品の概要

2025年3月期（2024年度）第3四半期業績概要

1. 今回発表のポイント
2. 連結業績の概要
3. 主な経営指標
4. セグメント別の状況
5. 財務の状況（連結）
6. 今後の見通し

参考資料

1. 業績の推移（連結）

当社商品の概要

「粉末冶金技術」を駆使し、タングステン製品を軸に多様な特性を持つ商品を展開

1930年代

1950年代

1970年代

2000年～

粉末冶金技術

多様な特性を持つ商品を展開

タングステンに銅や銀を組み合わせ、**通電性や耐アーク性を備えた合金を開発**

熱に強いタングステンの特徴を用いた**電球フィラメント**が、当社の出発点

電気・電子製品

(タングステン製品)



ブレーカー用電気接点

金属材料製品

(タングステン製品)



電球用タングステンワイヤー製品

タングステンカーバイドとコバルト等を組み合わせ、**耐摩耗性や耐腐食性に優れた合金を開発**

超硬合金製品

(タングステンカーバイド合金)

セラミックス製品

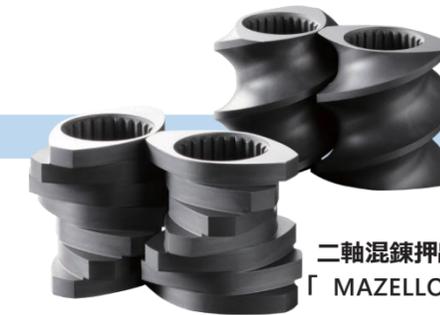
(セラミックス材料)



ハードディスクドライブ(HDD)用
磁気ヘッド基板



NTダイカッター



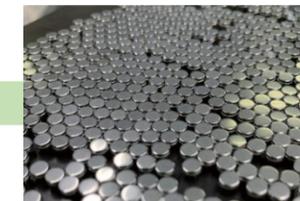
二軸混練押出機用部材
「MAZELLOY®」



抵抗溶接用電極



プラズマ電極



EVリレー用接点



医療関連カテーテル用タングステンワイヤー製品

機械部品事業 (他の商品)

耐摩耐食部品
セラミックス精密加工品
ウルトラファインバブル関連製品

産業用設備向け耐摩耗部材 液晶塗付
用超硬長尺製品 超硬精密加工品

電機部品事業 (他の商品)

放射線遮蔽材料
 balancer用錘
その他電極製品

コピー機や空気清浄機の放電線
自動車のホーン用接点

暮らしを支える様々な場面で使用される当社の製品

■ 半導体・電子部品市場

サーバーなどのハードディスクドライブの読み取り装置を支える基板や、「産業のコメ」といわれ、電子デバイスの基本材料となる半導体にも、その製造過程で当社の製品が使われています。



■ 衛生用品機器・医療用部品市場

カテーテル用のブレイディングチューブや電気手術用電極など、医療分野でも当社の製品が使われています。



皆様の健やかな生活を支える衛生用品の製造工程でも、当社の製品が使われています。



■ 自動車部品市場

先端技術を駆使した自動車の部品や、製造工程にも当社の製品が使われています。

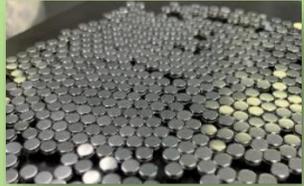
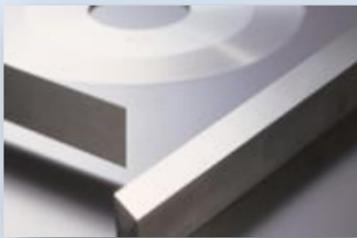


■ 産業用機器・部品市場

より効率的な生産への改善や、安全面、環境面への管理に対し、信頼性の高い部品が求められています。高品質な材料を活かし、当社の様々な製品がこの分野でも活躍しています。



4つのターゲット市場に、粉末冶金技術を生かした素材・商品群を提供

ターゲット市場	事業セグメント	
	機械部品事業	電機部品事業
半導体・電子部品市場	 <p>ハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板</p> <p>世界 No.1シェア(当社調べ)</p>	 <p>プラズマ電極</p>
自動車部品市場	 <p>二軸押出機用部材 新商品 「MAZELLOY®」 (コンパウンド混錬機用)</p>	 <p>E Vリレー用接点</p>  <p>抵抗溶接用電極 (電装部品溶接用)</p>
産業用機器・部品市場	 <p>産業用設備向け耐摩耗部材 液晶塗付用超硬長尺製品</p>	 <p>ブレーカー用電気接点</p>
衛生用品機器 ・医療用部品市場	 <p>N Tダイカッター 国内No.1・世界No.2シェア(当社調べ)</p> <p>新素材を開発</p>	 <p>医療関連カテーテル用 タングステンワイヤー製品</p>

2025年3月期（2024年度） 第3四半期 業績概要

1. 今回発表のポイント

2025年3月期（2024年度）第3四半期決算の総括

- ・当第3四半期の業績は、前年同四半期比で連結・個別ともに増収増益

経済環境

- ・企業の設備投資が堅調であり、雇用・所得環境の改善により個人消費が増加したこと等から、景気は緩やかな回復基調で推移
- ・世界の金融市場の変動や、中東情勢の先行き懸念を起因とする海外景気の下振れ等、先行きは依然として不透明な状況が継続

ターゲット市場の概況

- ・半導体・電子部品市場 : データセンターの旺盛な需要等に支えられ、好調に推移し、増収
- ・衛生用品機器・医療用部品市場 : 市況に大きな拡大はないものの新たな取組みにより需要を獲得し好調に推移
- ・産業用機器・部品市場 : まとまった需要や在庫の確保の動きもあり堅調に推移
- ・自動車部品市場 : 北米及び中国向けの需要減少が影響し、低調に推移

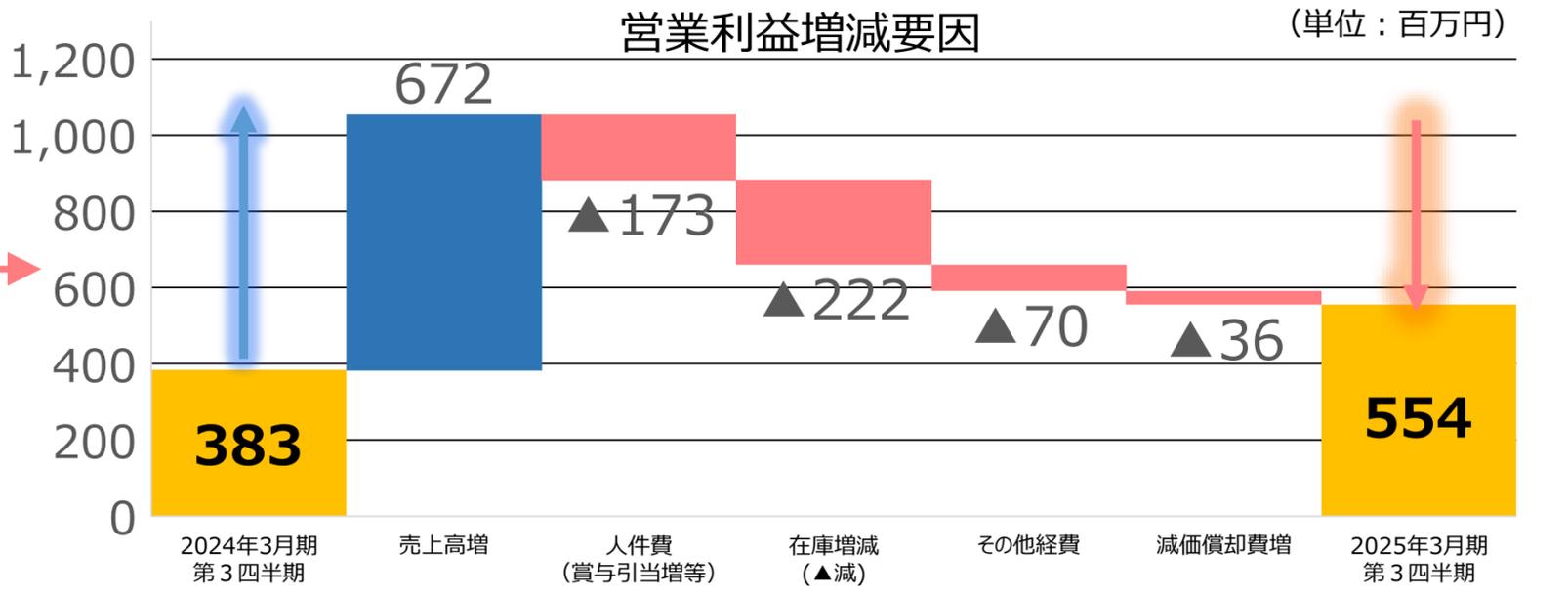
1. 今回発表のポイント

今後の見通し

・今後の見通し	<ul style="list-style-type: none">企業の設備投資の拡大や個人消費が増加したこと等により、日本経済は緩やかな回復傾向地政学リスクの高まりや、米国の新政権による経済・外交政策等による下振れリスク要因も懸念され、先行きは不透明な中で推移するものと思われる	
	機械部品事業	<ul style="list-style-type: none">HDD用磁気ヘッド基板やNTダイカッター等の注力商品の増収等により、利益率が改善しており、2025年3月期第4四半期においても、引き続き好調に推移する見込み
	電機部品事業	<ul style="list-style-type: none">産業用設備向けのブレーカー用電気接点が、引き続き回復する見込みEVリレー用接点及び電装部品溶接用の抵抗溶接用電極の減少傾向の継続
・業績予想	当第3四半期決算時点での業績は、利益面が2024年5月9日に発表した業績予想値に達する状況で推移しており、第4四半期も概ね堅調に推移すると見込んでいることから、2025年3月期通期の連結及び個別業績予想を上方に修正	

2. 連結業績の概要

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	(単位：百万円)	
			対前年比 増減額	増減率 (%)
売上高	8,374	9,331	957	11.4
営業利益	383	554	171	44.7
経常利益	605	778	172	28.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	485	543	58	12.0



連結売上高	93億3千1百万円 (前年同四半期比11.4%増)	<ul style="list-style-type: none"> 機械部品事業において、注力商品であるハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板や、NTダイカッターが好調に推移したことや、電機部品事業においても、EVリレー用接点や抵抗溶接電極が低調にあるものの、ブレーカー用電気接点が回復するなど堅調に推移。 連結売上高は、前年同四半期比11.4%の増収。
営業利益	5億5千4百万円 (同 44.7%増)	<ul style="list-style-type: none"> 海外子会社での円安効果や、注力商品を中心に売上高が増加したことにより収益性が改善し、前年同四半期比44.7%の増益。
経常利益	7億7千8百万円 (同 28.6%増)	<ul style="list-style-type: none"> 関連会社の持分法による投資利益や為替差益の減少等があったものの、営業外費用の縮小等もあり、前年同四半期比28.6%の増益。
親会社株主に帰属する四半期純利益	5億4千3百万円 (同 12.0%増)	<ul style="list-style-type: none"> 前年同四半期比12.0%の増益。

3. 主な経営指標

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期
売上高営業利益率	1.4	8.4	8.9	4.6	↑ 5.9
自己資本四半期純利益率 (ROE)	3.6	6.8	7.0	4.2	↑ 4.5
総資産経常利益率 (ROA)	2.2	6.3	6.7	3.6	↑ 4.5
1株当り四半期純利益	77.20	146.20	157.57	100.35	↑ 112.21

- 前年同四半期比で増収増益となったことにより、経営指標は改善傾向。

(注) 2024年1月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。
2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

4. セグメント別の状況

■ セグメント業績の概要

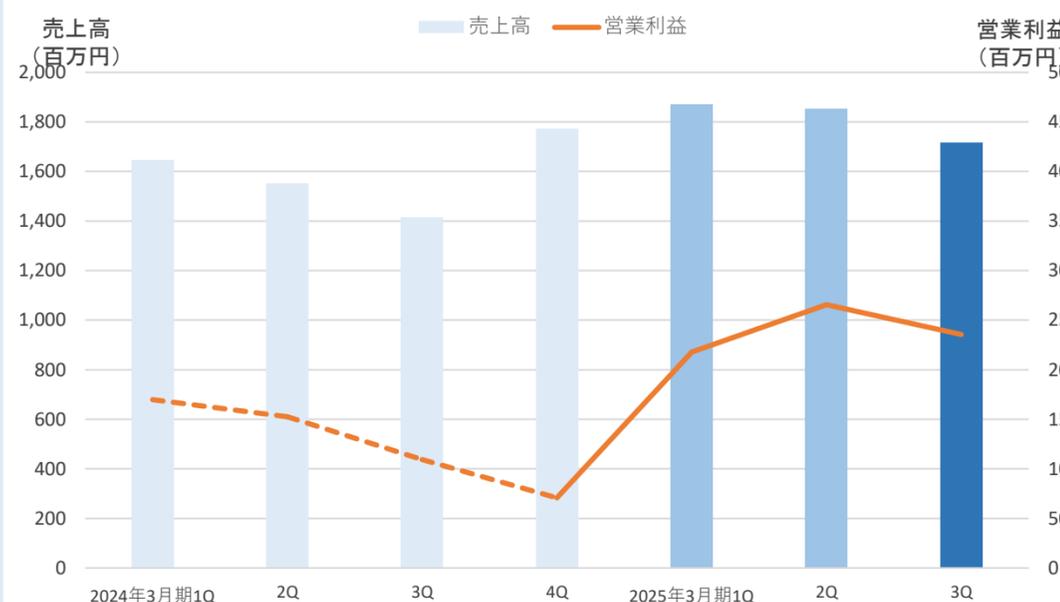
(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	対前年比		
			増減額	増減率 (%)	
機械部品事業	売上高	4,611	5,437	826	17.9
	営業利益	431	719	287	66.6
電機部品事業	売上高	3,787	3,917	130	3.4
	営業利益	367	270	△97	△26.4
調整額	売上高	△24	△22	1	—
	営業利益	△415	△434	△19	—
全社	売上高	8,374	9,331	957	11.4
	営業利益	383	554	171	44.7

- 機械部品事業は前年同四半期比 増収増益
- 電機部品事業は前年同四半期比 増収減益

機械部品事業

売上高・営業利益の四半期別推移



	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期
売上構成比	54.9%	58.1%
営業利益率	9.4%	13.2%

前年同四半期比

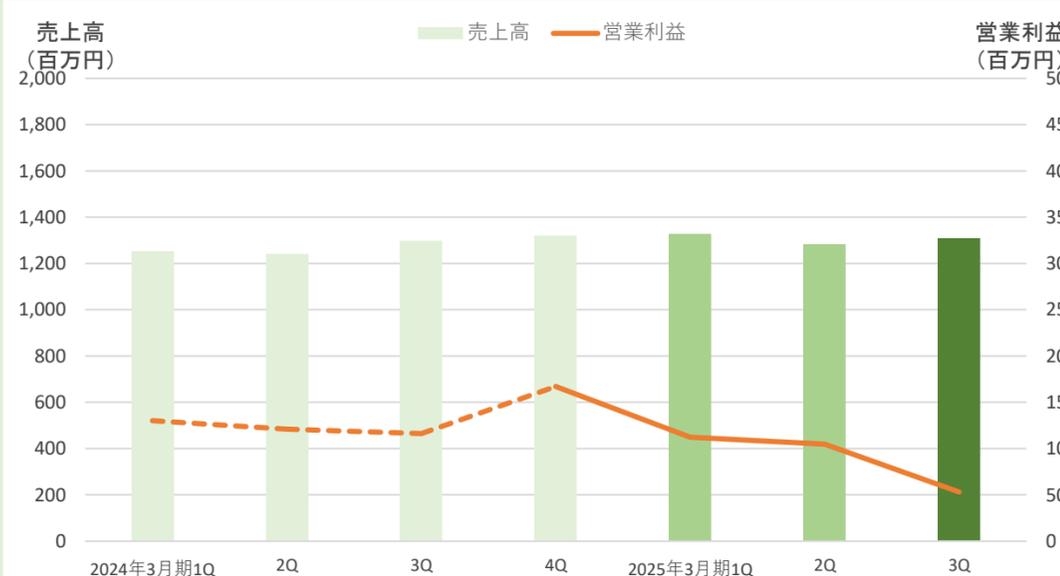
- 売上高は、17.9%の増収
- 営業利益は、66.6%の増益

四半期推移

- 売上高は、半導体・電子部品市場、衛生用品機器市場ともに需要が増え増収。
- 営業利益は、増益。営業利益率は13%台まで回復。

電機部品事業

売上高・営業利益の四半期別推移



	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期
売上構成比	45.1%	41.9%
営業利益率	9.7%	6.9%

前年同四半期比

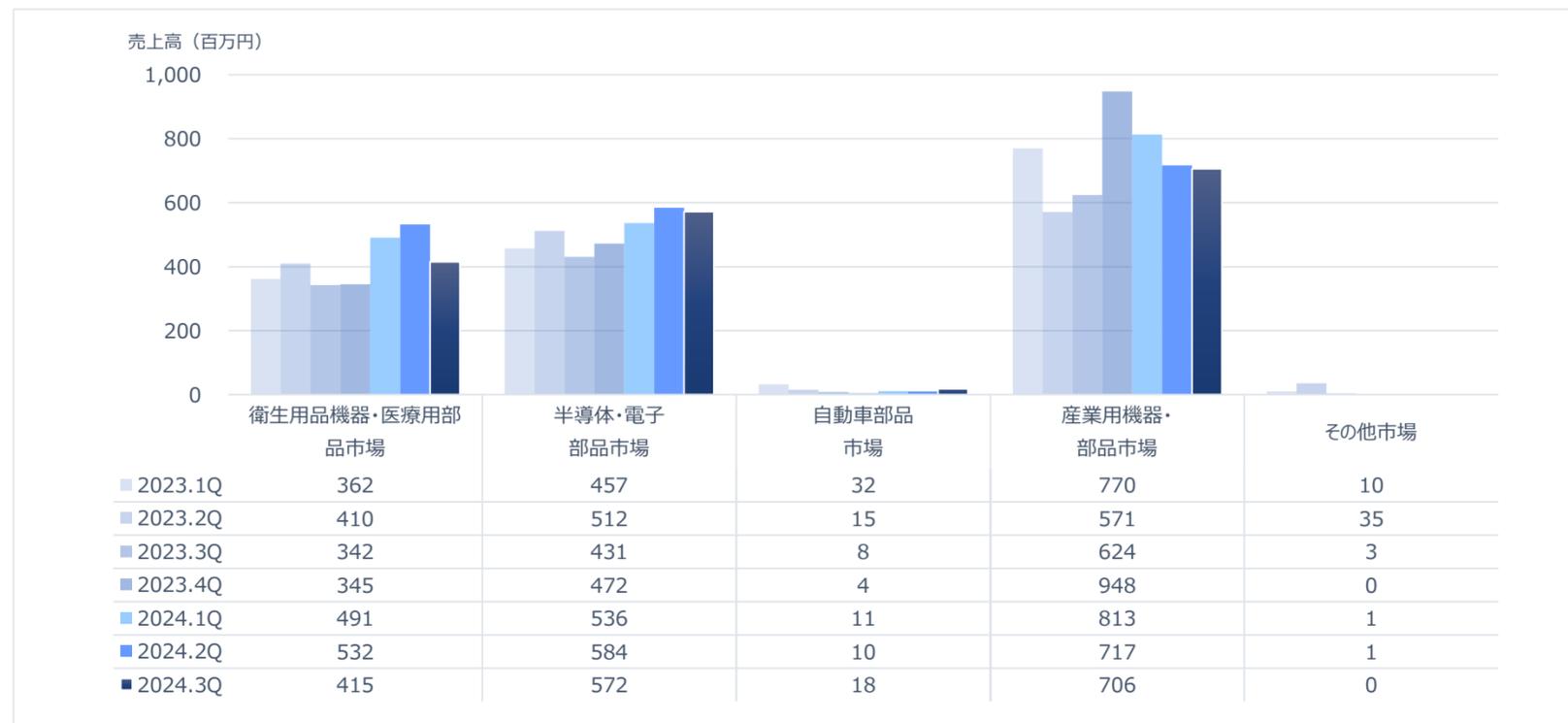
- 売上高は、3.4%の増収
- 営業利益は、26.4%の減益

四半期推移

- 売上高は、12億円台で推移。
- 営業利益は、注力商品の減少傾向に伴い低調。

4. セグメント別の状況

■ ターゲット市場別業績・主要商品の状況



NTダイカッター



HDD用
磁気ヘッド基板



二軸混錬押出
機用の金属部品

※売上高はセグメント間の取引を含んでおりません。

ターゲット市場の主要な商品の状況 (前年同四半期比)

■ 半導体・電子部品市場

情報関連機器のハードディスクドライブ (HDD) 用磁気ヘッド基板

データセンター等で使用される大容量HDDの需要が増加していることや、在庫調整が解消したこと等により、増収

■ 衛生用品機器・医療用部品市場

NTダイカッター

新材料および新構造のロータリーカッターユニットの拡販により新興国向けが拡大するなど好調に推移し、増収

■ 産業用機器・部品市場

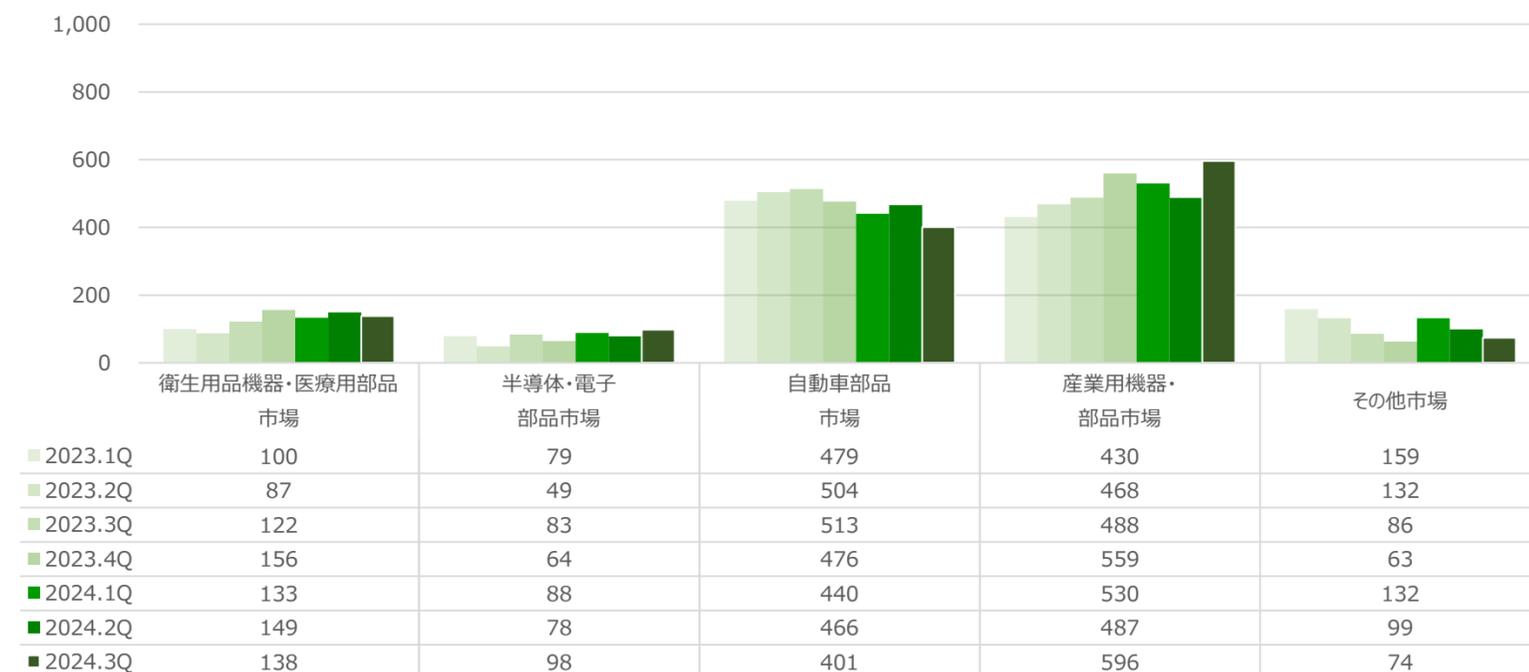
二軸混錬押出機用の金属部品

当連結会計年度上期に納期が集中したこともあり増収

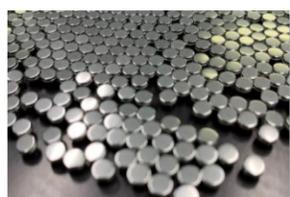
4. セグメント別の状況

電機部品事業

売上高 (百万円)



医療関連カテーテル用
タングステンワイヤー製品



EVリレー用接点



ブレーカー用
電気接点



抵抗溶接用電極

※売上高はセグメント間の取引を含んでおりません。

ターゲット市場の主要な商品の状況 (前年同四半期比)

■ 自動車部品市場

EVリレー用接点

顧客の需要減少等もあり、減収

電装部品溶接用の抵抗溶接用電極

中国向けエンドユーザーの電極需要の減少等もあり、減収

■ 産業用機器・部品市場

産業用設備向けのブレーカー用電気接点

前期の在庫調整を経て回復基調にあり、増収

■ 衛生用品機器・医療用部品市場

医療関連部材のカテーテル用タングステンワイヤー製品

北米地域向けでの新規顧客の獲得や、東南アジア向けでは在庫調整が終息し、増収

5. 財務の状況（連結）

	2024年3月期	2025年3月期 第3四半期	(単位：百万円) 対前年比 増減額
総資産	17,137	17,621	483
負債	5,024	5,134	110
純資産	12,113	12,486	373

主な経営指標

	2024年3月期	2025年3月期 第3四半期
自己資本比率（%）	70.6	70.8
1株当たり純資産（円）	2,498.79	2,572.58

	主な増加要因 (単位:百万円)	主な減少要因 (単位:百万円)
総資産 176億2千1百万円 (前連結会計年度末比4億8千3百万円増)	棚卸資産 +318 有形固定資産 +299	現金及び預金 △231
負債 51億3千4百万円 (同1億1千万円増)	流動負債その他 +206	賞与引当金 △116
純資産 124億8千6百万円 (同3億7千3百万円増)	利益剰余金 +301 為替換算調整勘定 +81	—

6. 今後の見通し

今後の見通しと通期業績予想

- 企業の設備投資の拡大や個人消費が増加したこと等により、日本経済は緩やかな回復傾向にありますが、地政学リスクの高まりや、米国の新政権による経済・外交政策等による下振れリスク要因も懸念され、先行きは不透明な中で推移するものと思われる。
- 当社グループの業績は、機械部品事業では、HDD用磁気ヘッド基板やNTダイカッター等の注力商品の増収等により、利益率が改善しており、2025年3月期第4四半期においても、好調に推移する見込み。一方、電機部品事業では、産業用設備向けのブレーカー用電気接点が、引き続き回復するものと見込まれるが、EVリレー用接点及び電装部品溶接用の抵抗溶接用電極の減少傾向の継続が見込まれる。
- 当第3四半期決算時点での業績は、利益面が2024年5月9日に発表した業績予想値に達する状況で推移しており、第4四半期も概ね堅調に推移すると見込んでいることから、2025年3月期通期の連結及び個別業績予想を上方に修正する。

修正後の2025年3月期業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期連結業績予想	12,300	7.3	650	36.5	880	11.9	600	13.8	123.87
	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭		
通期個別業績予想	11,000	7.7	820	36.2	580	26.1	119.74		

(注) 業績予想修正後の予想配当性向は40.4%であります。



参考資料

1. 業績の推移（連結）

経営成績（連結）

（単位：百万円）

区分	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期
売上高	7,182	8,837	9,812	8,374	9,331
営業利益	97	744	872	383	554
経常利益	344	962	1,090	605	778
親会社株主に帰属する四半期純利益	372	704	761	485	543
純資産	10,243	10,472	11,336	11,803	12,486
総資産	14,974	15,755	16,970	16,893	17,621

経営指標（連結）

区分	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期
売上高営業利益率 (%)	1.4	8.4	8.9	4.6	5.9
自己資本比率 (%)	68.3	66.4	66.7	69.8	70.8
1株当たり純資産 (BPS) (円)	2,124.05	2,168.93	2,341.52	2,434.85	2,572.58

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。